

研究課題名： 集中治療領域の院内血流感染の疫学と予後規定因子に関する調査：
欧州集中治療医学会（European Society of Intensive Care Medicine: ESICM）研究班による
多国籍コホート研究

所属（診療科）：集中治療部

研究責任者（職名）：牧野 淳（部長心得）

研究期間：倫理委員会承認より 2023年3月31日まで

研究目的と意義：

【目的】

- ・ ICU で治療が行われた院内発症血流感染症の疫学および予後規定因子の調査
- ・ 細菌検査室の運用に関する調査
- ・ 院内発症血流感染症の予後規定因子の調査

【意義】

近年、世界規模での薬剤耐性の拡大と予後の悪化が指摘されており、今回 ESCIM 主導の院内発症血流感染症に関する大規模多国籍研究へ参加することで、薬剤耐性の拡大により、院内発症血流感染症の管理と予後がいかに変わってきているかを知ることは意義がある。

研究内容：

- 対象となる患者さん：倫理委員会承認以降3か月間(あるいは10症例が組み込まれるまで)に横須賀市立うわまち病院特定集中治療室(ICU)へ入室された患者さんのうち ICU で採取された血液培養検査が陽性となった患者さん
- 利用する情報・資料：年齢、性別、病名、ICU入室時 APACHEII(Acute Physiology And Chronic Evaluation)II スコア、SOFA スコア、乳酸、プロカルシトニン、血液培養結果、感染巣、人工呼吸期間、腎代替療法有無、循環作動薬投与量・期間、ステロイド使用有無、抗菌薬選択・投与量・期間、耐性菌有無、MIC、ICU入室期間、転帰
- 研究方法：本研究は、横須賀市立うわまち病院集中治療部を含む多施設前向き観察コホート研究である

問い合わせ先：研究担当者

氏名：牧野 淳

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話： 046-823-2630 FAX:046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)